

## 【会議録】

会 議 名	第1回「港区平和都市宣言40周年記念冊子」等作成業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和6年5月8日（水） 午後1時00分から午後2時10分
開 催 場 所	港区役所 915会議室
委 員 員	出席者 5名 都倉委員、小松委員、片山委員、山本委員、小坂委員 欠席者 0名
事 務 局	総務部総務課人権・男女平等参画係長大久保、堀口
会 議 次 第	1 開会 2 委員長・副委員長の選出について 3 選考委員会選考スケジュール（案）について 4 事業候補者募集要項（案）について 5 採点基準表（案）について 6 閉会
配 付 資 料	資料1 委員名簿 資料2 委託事業候補者選考委員会設置要綱 資料3 選考委員会選考スケジュール（案） 資料4 業務委託事業候補者募集要項（案） 別紙1 仕様書（案） 別紙2 業務委託事業候補者選考基準（案） 【様式1】質問書 【様式2】参加表明書兼参加資格審査申請書 【様式3】共同事業体構成書 【様式3-2】共同事業体協定書兼委任状 【様式3-3】委任状 【様式4】事業者概要及び業務実績 【様式5】業務従事予定者の経歴及び専任性 【様式6】業務従事予定者の配置計画及びスケジュール 【様式7】企画提案書（冊子について） 【様式8】企画提案書（DVDについて） 【様式9】プロポーザル参加辞退届 資料5-1 採点基準表（一次審査）（案） 資料5-2 採点基準表（二次審査）（案）

会議の結果及び主要な発言

(発言者)

- 1 開会  
(事務局より開会のあいさつ)  
(人権・男女平等参画担当課長よりあいさつ)  
(委嘱状は席上配布にて交付)  
(各委員より自己紹介)
- 2 委員長・副委員長の選出について  
(委員長は委員の互選により決定)  
(副委員長は委員長に指名により決定)
- 3 選考委員会選考スケジュール(案)について  
  
(事務局より資料3について説明)

委員長

質問・意見等ありますか。

(委員一同、異議なし)

委員長

本案を決定します。

- 4 事業候補者募集要項(案)について  
  
(事務局より資料4、別紙1について説明)

委員長

質問・意見等ありますか。

A委員

資料4の7の(6)留意事項について、ページ数は限定した方が良いでしょうと思います。特に【様式7】【様式8】は、補足資料に枚数の制限があるように、ある程度ページ数の上限を設けた方が良いでしょうのではないかと思います。

事務局

ページ数に上限を設けます。ページ数については、資料5の採点基準の目安に合わせてページ数を設定すると、採点時により評価しやすい物が提出されると考えます。具体的なページ数については、委員の意見を参考にしたいです。

B委員

港区の指定管理者候補者選考において枚数制限を設ける場合、採点項目に対して2ページ以内が一般的なページ数です。仮に足りない場合は、補足資料で補足するのはどうでしょうか。このボリュームで判断できるかについて

	は、他の委員の意見を聞きたいです。
C委員	今の意見に賛成です。今回の事業者選考ではデザインも見る必要がありますが、プロトタイピングがあるとボリュームが大きくなる可能性があります。また、事業者が過去事例を補足資料として入れる可能性が非常に高いです。具体的な枚数設定は難しいですが、ページ数を設定しなければコピーのような物で送ってくる可能性があり、それをすべて我々でチェックして責任を持つことは大変なため、設けることは賛成です。過去事例やビジュアル面でどの程度膨れるかを鑑みた方が良いと考えます。
D委員	何らかの制限を設けた上で、補足資料は10枚以内でどうでしょうか。
C委員	恐らく問題ないです。業務実績はその他の様式で確認できますか。
事務局	実績は別の様式で確認可能です。【様式5】で業務担当者の今までの業務、【様式4】で事業者の過去の業務実績を確認できます。
C委員	それであれば問題ないと考えます。
委員長	様式7、8についてはそれぞれ2枚程度、補足資料は10枚以内といった制限を設ける方向で良いでしょうか。  (委員一同、異議なし)
委員長	事務局は文言等の修正をお願いします。その他に意見はありますか。
D委員	要項に「映像資料(DVD)を作成」とありますが、現在のDVDが持つ訴求力を踏まえて再考したいです。納品物としてDVDがあれば、学校に配布して手に取るきっかけになると思います。一方で、前回の冊子作成から10年経過していることもあり、プラスの可能性を事業者に問うことがあっても良いと思います。ビジュアル展開の工夫をDVDに限定せず、「冊子プラスアルファ」という形で広がりを持たせることは出来ないでしょうか。前回のDVDも、アクセスの方法は限られています。募集要項を、デジタルな展開の伸び代を期待できる形にできないかと思います。
C委員	同感です。その方が、港区が新しい試みを期待しているという意図を事業者側が感じ取りやすいのではないのでしょうか。間口を広げるのであれば、DVDと指定せず「含む」等の柔らかいニュアンス変更は良いと思います。
E委員	賛成です。DVDは学校での上映や地域の学習館、博物館等で採用されやすいと思いますが、個人に対する訴求力を考えると、DVDを見る媒体を所

	<p>持していない人も増えていることから、Webベースで見せる広がりを持たせることは様々な方に見てもらうために、とても良いと思います。DVDは映像と音声の視聴に限りますが、最近の戦争体験の聞き取りを表現する方法として、Google Earthの様なデジタル地図上に配置し、学習者がそれをクリックして自分で能動的に情報収集できる仕掛けの表現方法もあります。受け身で「見る・聞く」以外の可能性を引き出すような、新しい表現方法を余白として持たせることも大切だと感じます。</p>
事務局	<p>DVD以外の提案を受けられるように公募要項を修正したうえで各委員に確認をし、予定通りの日程で公表することとして良いでしょうか。</p>
委員長	<p>せっきくの機会で10年間の進化・伸び代を見せられる提案も受けるため、要項の修正をお願いします。その他、質問・意見等ありますか。</p> <p>(委員一同、異議なし)</p>
委員長	<p>他の部分は案の通り決定で良いでしょうか。</p> <p>(委員一同、異議なし)</p>
委員長	<p>本案は修正を踏まえた上で決定とします。</p> <p>5 採点基準表(案)について</p> <p>(事務局より資料5-1、資料5-2について説明)</p>
委員長	<p>質問・意見等ありますか。</p>
C委員	<p>募集要項の修正に合わせて評価項目も修正をした方が良いのではないのでしょうか。</p>
A委員	<p>DVD以外の要素をどのように使うのかも提案してもらえば、評価の項目の修正が必要と考えます。</p>
委員長	<p>事務局は募集要項の修正に伴う考え方を評価する項目と、審査ポイントを考慮する方向で文言の調整をお願いします。</p>
A委員	<p>別紙2について、採点基準表を公開しないからこそ、評価基準に沿った内容のものが提出されるよう、選考基準に詳細に記載した方が良いと思います。また、別紙2の2の(3)審査方法については、二次審査の所要時間やプレゼンテーション時のプロジェクターの有無、説明に来る人物は業務責任</p>

	者の予定者である等、プレゼンテーションや審査方法に対する説明も記載した方が良いのではないのでしょうか。
事務局	C委員の指摘通り、プレゼンテーションの時間等については改めて明記します。一般的なプロポーザルの時間配分はプレゼンテーション15分、質疑応答15分の約30分間。時間配分は一旦30分として良いのでしょうか。
委員長	よろしいですか。  (委員一同、異議なし)
事務局	採点基準表にある項目を事業者が見る選考基準にも具体的に掲載します。
委員長	プレゼンテーションの件とデジタル発信等について評価したい部分を盛り込む点を踏まえ、意見等ありますか。
B委員	資料5-1の1(1)の事務局採点です。事務局が量の多さで点数を付けることになるため、デザイン面の質の高さが評価に反映されません。C委員のように知識を持った委員がデザイン面の専門的な知見で評価できるよう、多少の見直しが必要に感じます。
C委員	デザイン面での評価は非常に難しい領域だと思います。事務局採点とするならば、私が各事業者の強み・弱みについてコメントし、それを基に事務局に最終判断してもらうのが良いと思います。
事務局	要項や採点基準の修正もふまえ、事業者からどのような材料を提供してもらうことも考えた上で改めて確認していただいてよろしいのでしょうか。
C委員	はい。
委員長	その他に質問、意見等ありますか。  (委員一同、異議なし)
委員長	今出た点を踏まえて修正を行い、基本的に提案通り決定でよろしいですか。  (委員一同、異議なし)
	6 閉会 (事務局から今後のスケジュールについて説明)

(閉会の挨拶)